

充実した総合診療実習を終えて

今年 6 月 9 日から 1 カ月、新潟市民病院で総合診療学の臨床実習をさせていただきました。外来実習で新患の方への問診や診察を体験できました。これまで外来の方への問診・診察をする機会は少なかったので、大変貴重な経験になりました。

実習を通して一番印象に残ったことは、患者さんの本当の心配事や困っていることを聴く、あるいは見抜くこと、つまり「人を診る」ことの重要性です。患者さんが心配している疾患と身体診察上の問題が一致していない場合、身体の問題と患者さんの心配へのどちらへのアプローチも必要になります。これを可能にするために、患者さんの主張の聴取と身体診察を怠らないことが必要だと感じました。

今回の実習で、患者さんの話をよく聴くことは実践できました。しかし、診察能力、特に聴診に関しては未熟だと感じました。今後、それらの能力を身に付けるために精進していきます。